



老朽化や傷みが激しく、市が新たな施設を市有明地域観光物産公園内に建設。4

大牟田

SDGs教育に活用を

グリーン シップ 児童へカレンダー贈る



カレンダーを寄贈した田中社長(右)

デジタルトランスフォーメーション(DX)を活用して調査やコールセンター業務を行うグリーン・シップ(田中明子社長、東京都千代田区)が、大牟田市に「SDGs(持続可能な開

発目標)日めくりカレンダー「1050冊を寄贈した。市内の小学5年生全員に配られ、学校や家庭での日々の教育に役立てられる。寄贈は同市出身の田中社長がふるさとの積極的なE

SD(持続可能な開発のための教育)の取り組みに協力したいと昨年から行っている。学校で学ぶ子どもたちだけでなく保護者にも理念を知ってもらいたいと、自宅で毎日使える卓上

カレンダーを贈っている。活動の思い出しにしてほしいと、今年のカレンダーには同市の児童の日々の取り組みの写真が使われた。カレンダーは1冊目から31日目までのページがあり、毎月繰り返し使って身近なことから始められるSDGsを学ぶことができる。

23日に市役所で行われた寄贈式では、田中社長が大牟田のSDGsの取り組みに協力できうれしい。活動をリレーのように今後につなげていってほしい」とあいさつし、谷本理佐教育長にカレンダーを手渡した。谷本教育長は「自分たちの写真が入ったカレンダーは子どもたちもいい思い出になるはず。引き続きSDGs教育を進めていきます」と話し、感謝を伝えていた。(益田 明徳)

同館運営スタッフの一人、森郁子さんは「ママたちの力はすごくて、ここで



10トンのタンクを備えた大型水槽

児童買春した 疑いで男を逮捕

大牟田署

大牟田署は29日午前7時58分、児童買春・ポルノ禁止法違反の疑いで、福岡市博多区東比恵の会社員、徳永真也容疑者(53)を逮捕した。容疑をおおむね認められているという。

同署によると、徳永容疑者は昨年10月19日午後5時45分ごろから同7時ごろまでの間、朝倉市のホテルで同市に住む中学生の少女(当時13)が18歳に満たない児童であることを知りながら、現金3万円を渡して、みだらな行為をした疑い。サイバーパトロールから発覚した。

とうサン



こちら 110番

28日午前8時15分
《大牟田署》
▼午前9時46分「歴木の駐車で、もめ事です」交番員出動。厳重注意、和解。
▼午前11時56分「大黒町で4、5歳ぐらいの迷子です」交番員出動。家族に引き渡す。
▼午後1時10分「歴木の駐車で、もめ事です」交番員出動。厳重注意、和解。
▼午後1時45分「大黒町で4、5歳ぐらいの迷子です」交番員出動。家族に引き渡す。
▼午後3時10分「歴木の駐車で、もめ事です」交番員出動。厳重注意、和解。